

# 2018年9月期 第2四半期決算説明会



2018年 6月 1 日

当資料に記載されている、当社の計画や戦略、業績に関する予想及び見通しのうち、歴史的事実を含んでいないものは、当社が現時点で把握可能な情報から判断した、想定及び所信に基づくものであります。  
実際の業績は、様々な要因により異なる結果となる可能性もありますので、ご承知おき下さい。

会社の事業に影響を与える可能性のある事項の詳細は、「2018年9月期 決算短信」の「事業等のリスク」をご参照ください。  
但し、業績に影響を与える可能性のある要素は、「事業等のリスク」に記載されている事項に限定されるものではないことをご留意下さい。

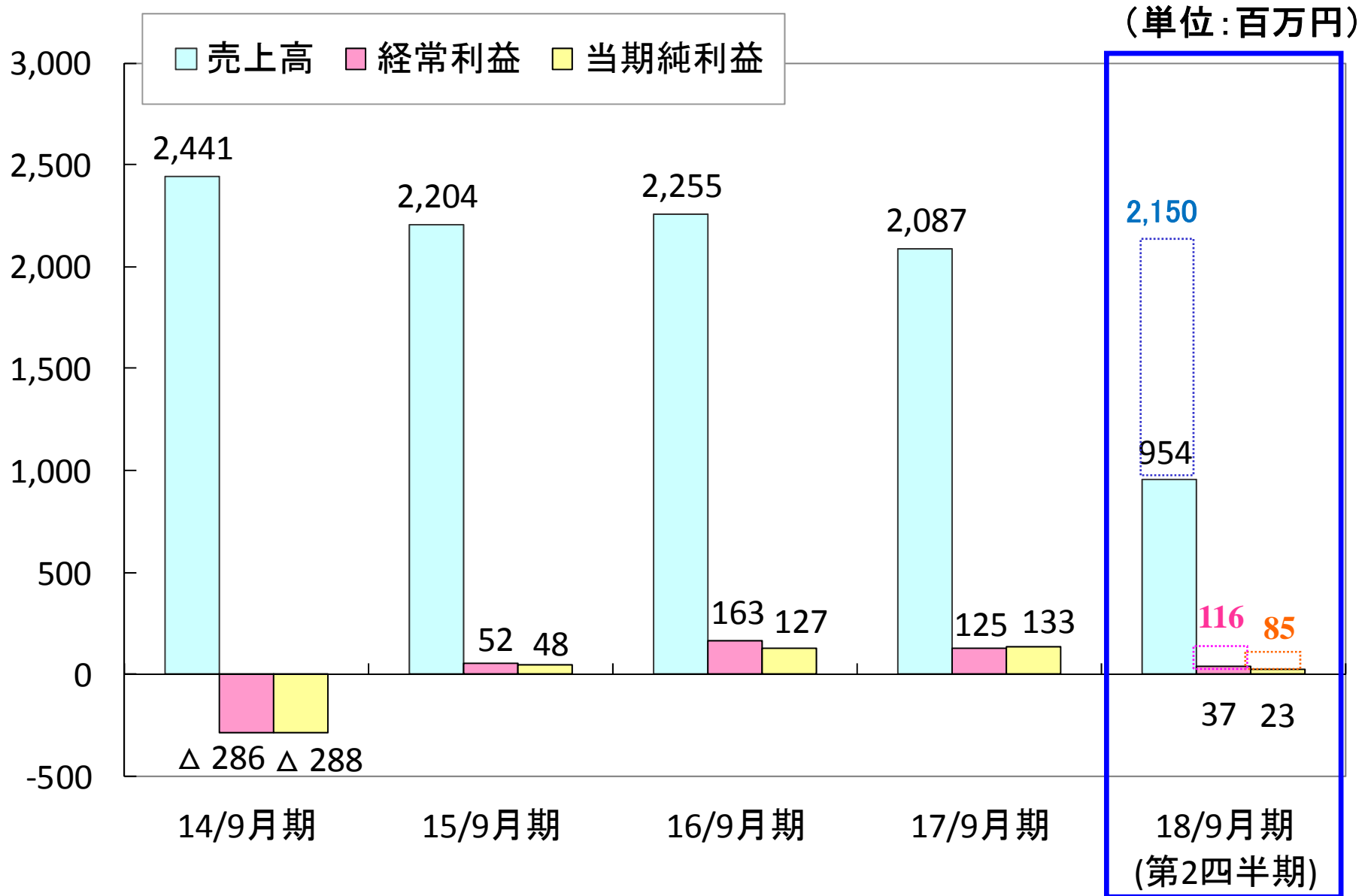
法律上必要とされる場合を除いて、当社は事前の予告なく、将来の見通しに関する記述を見直すなど、将来の見通しの根拠となった仮定及び要因についての変更を行うことがございますので、ご了承ください。

## 【IRに関するお問い合わせ先】

電話 : 0836-39-5151

E-Mail : [ir@afs.co.jp](mailto:ir@afs.co.jp)

# 2018年9月期 第2四半期決算概要



## ■ ソフト販売の比重を上げた粗利益ベースの営業を継続 (単位：百万円)

	18/9期第2四半期(実績)			17/9期第2四半期		コメント
		構成比	対前同四半期 増減率		構成比	
売上高	954	—	△9.0%	1,049	—	ソフトウェアシフトが順調に推移、補助金対応のため、「 <b>飲食店経営管理システム®</b> 」の販売一時停止も売上高に影響
売上原価	551	57.8%	△15.4%	651	62.1%	システム機器販売の抑制により、低原価が定着
売上総利益	403	42.2%	+1.4%	397	37.9%	ソフトウェア・サービスの比重増加により粗利率が改善
販管費	357	37.4%	+12.7%	317	30.2%	採用の増加と育成、労働環境の整備などにより予算より増加
人件費	208	21.8%	+9.1%	190	18.2%	求人抜本改革により、予想以上の応募。計画以上の採用を実施 今期より、確定拠出年金加入
その他	149	15.6%	+18.1%	126	12.0%	販促、人材・研修以外の経費の絞り込みを継続
営業利益	45	4.8%	△43.1%	80	7.7%	利益率の高い「 <b>飲食店経営管理システム®</b> 」の販売を1-3月停止したことが、利益面に大きく影響
営業外収益	1	0.2%	△56.1%	4	0.4%	
営業外費用	10	1.1%	△1.5%	10	1.0%	
経常利益	37	3.9%	△50.0%	74	7.1%	
社員数	113名		+8.7%	104名		

## ■ 総資産は前期末からの現状を維持

(単位：百万円)

主な勘定科目	17年9月期末	18年9月第2四半期末	増減額
流動資産	942	920	△ 21
固定資産	1,653	1,659	6
(資産合計)	2,595	2,580	△15
流動負債	890	960	70
固定負債	608	549	△59
(負債合計)	1,498	1,509	10
1. 資本金	537	537	—
2. 資本剰余金	327	327	—
3. 利益剰余金	268	242	△26
4. 自己株式	△37	△37	—
(純資産合計)	1,096	1,070	△26
(負債・純資産合計)	2,595	2,580	△15

## ■営業キャッシュフローは、通期1億円ペース

(単位：百万円)

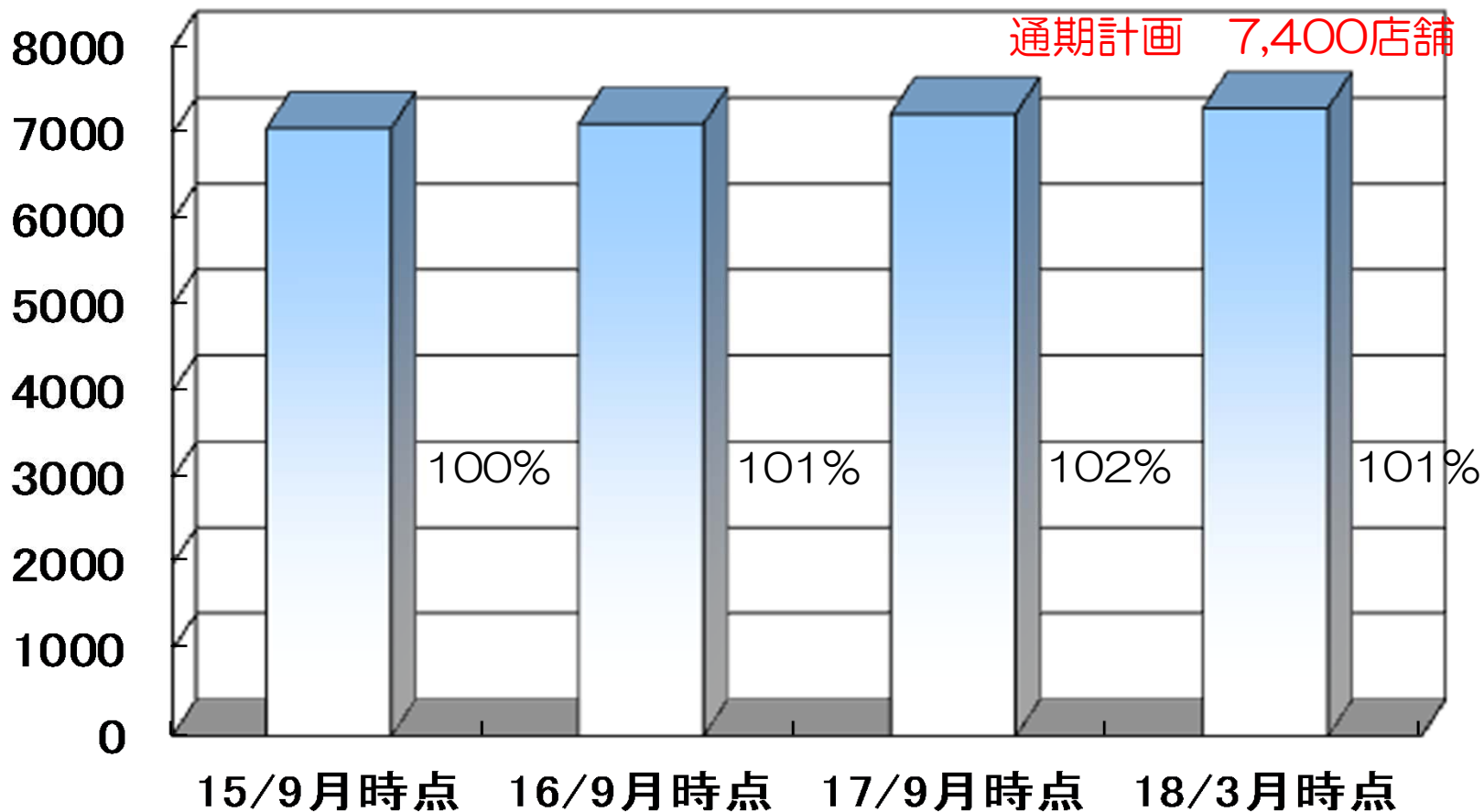
主な項目	18/9期 第2四半期 (実績)		17/9期 第2四半期	コメント
		増減額		
営業活動によるキャッシュフロー	48	△154	203	たな卸資産増加の一方で、減価償却費の計上と、四半期純利益の計上
投資活動によるキャッシュフロー	△83	+350	△433	主なものは、有形固定資産の取得による支出と、無形固定資産の取得による支出
財務活動によるキャッシュフロー	△59	△354	294	主なものは、配当金の支払いによる支出と、長期借入金の返済による支出
現金及び現金同等物の増減額	△94	△158	64	
現金及び現金同等物の期首残高	249	+ 19	229	
現金及び現金同等物の四半期末残高	155	△138	294	

## ■2018年9月期より、ホテル関連事業のセグメントが新たに追加

(単位：百万円)

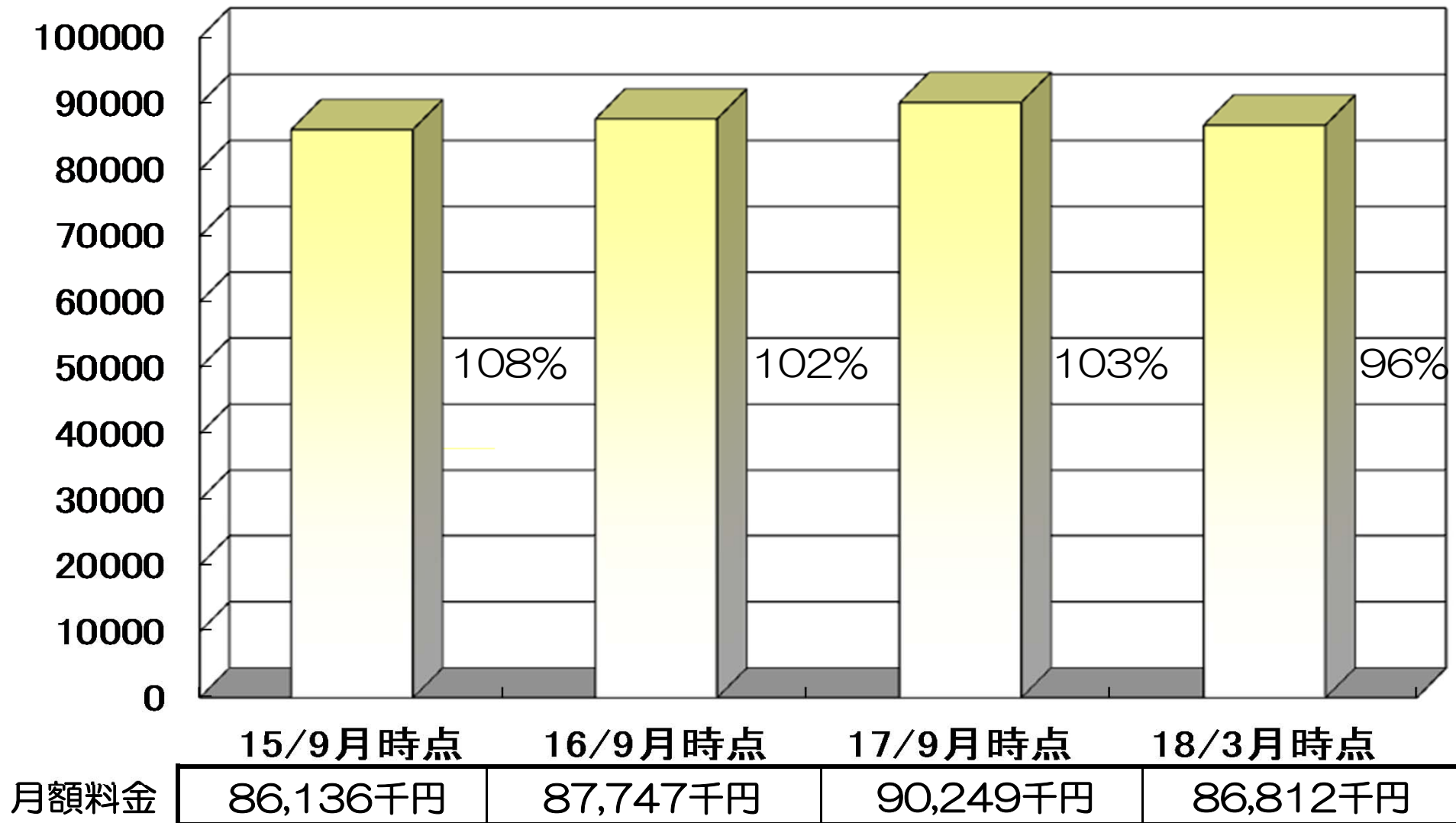
主な 事業セグメント		18/9期第2四半期(実績)			17/9期第2四半期		コメント
		金額	構成比	対前同四半期 増減率	金額	構成比	
ASPサービス事業	ASPサービス事業	562	58.9%	+2.4%	549	52.3%	ソフトウェアシフトが順調に推移 軽減税率対策補助金対応のため、 「飲食店経営管理システム®」の販売一時停止 が売上に影響
	システム機器事業	269	28.3%	△34.9%	414	39.5%	新規営業を抑制し、既存顧客の出店対応と リプレイスに集中
	周辺サービス事業	96	10.1%	+12.5%	85	8.1%	
ホテル関連事業		26	2.8%	—	—	—	法人契約全切替えに伴い、計画外の各種申 請手続き遅れ等で、営業の停止期間が発生、 ホテル前年実績からの見通しを割り込んだ
合計		954	—	△9.0%	1,049	—	—

■ A S P 基幹業務サービス事業 – サービス提供店舗数の推移 (単位：店舗数)



	15/9月時点	16/9月時点	17/9月時点	18/3月時点
サービス提供数	7,067店舗	7,115店舗	7,232店舗	7,297店舗
契約企業数	282社	276社	273社	272社

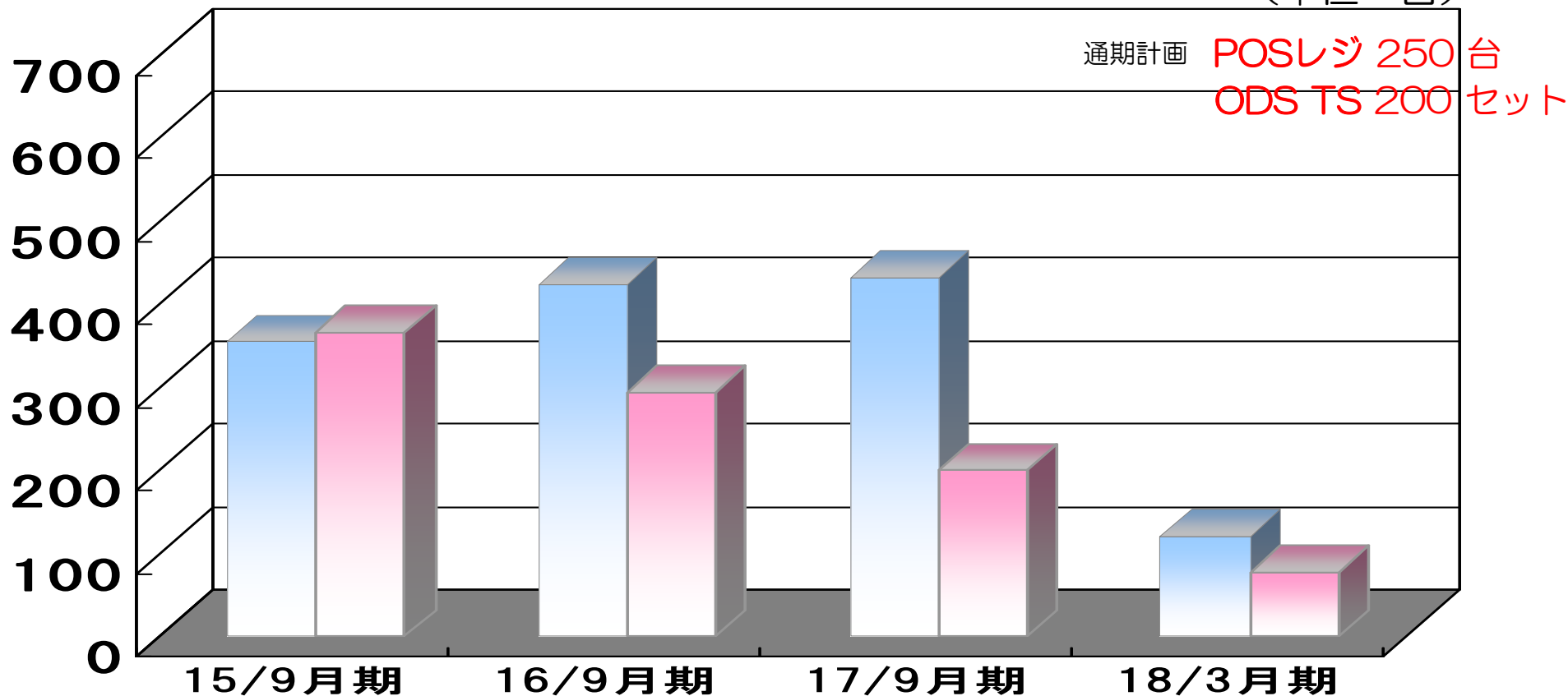
■ ASP 基幹業務サービス事業 - 月額料金の推移 通期計画 1,150,000 千円  
 (単位：千円)



## ■システム機器事業 – POS ( FOOD $\alpha$ 5000 FOOD $\alpha$ 6000 FOOD $\alpha$ 4000 )

FOOD GENESIS21 **オーダーショット** FOOD GENESIS21 **テーブルショット** の販売数

(単位：台)



通期計画 POSレジ 250 台  
ODS TS 200 セット

POSシステム 台数

ODS TS 販売セット数

15/9月期	355台	424台	432台	121台
16/9月期	366セット	294セット	200セット	77セット

# 2018年9月期 上期事業結果

- ◆システム機器とパッケージの販売バランスで営業利益率20%の早期達成を目指す。→営業政策により通期も修正
- ◆ASP基幹業務サービスと「**飲食店経営管理システム®**」の融合サービス、「**自動発注システム**」という、比類のない業界専用システムサービス、また、**マルチ決済サービス**などにより、月額増加を推進。
- ◆システム機器は、更なる独自共通部品化、調達工夫による、原価低減&システム機器製品のラインナップ化を推進 → **セルフレジの製品化においても、金型投資のないソフトウェアヘシフト**

(単位：百万円)

主な勘定科目	18/9期 上期実績			18/9期 上期予算	
		構成比	対前年同四半 期増減率		構成比
売上高	954	—	△9.0%	1,060	—
営業利益	45	4.8%	△43.1%	90	8.5%
経常利益	37	3.9%	△50.0%	80	7.5%
当期純利益	23	2.4%	△51.1%	57	5.4%

- ◆ASP／クラウド型基幹業務サービスは、「自動発注」連携サービスに集中
- ◆「**飲食店経営管理システム®**」拡張機能「**自動発注システム**」のマーケット拡大に伴い自動発注導入指導員育成の推進で業界全体底上げ → **一般社団法人設立**
- ◆低粗利仕入商品の販売政策の、更なる見直し → **自社ブランドシステム機器に集中**

(単位：百万円)

主な事業セグメント		18/9期 上期実績			18/9期 (予想)	
			構成比	対前年同四半期増減率		構成比
ASPサービス事業	ASPサービス事業	562	58.9%	+2.4%	1,260	58.6%
	システム機器事業	269	28.3%	△34.9%	610	28.4%
	周辺サービス事業	96	10.1%	+12.5%	200	9.3%
ホテル関連事業		26	2.8%	—	80	3.7%
合計		954	—	△9.0%	2,150	—

## ◆第1四半期の11月8日に、日経MJ紙1面カラー広告を出稿(継続) 「飲食店経営管理システム®」拡張機能「自動発注システム」の啓蒙活動を更に活発化 ★5月23日の日経MJ紙面(外食ランキング号)にも、同様の1面カラー広告を出稿★

**飲食店経営管理システム**  
28年前、あっという間に業界ベストセラーとなった「飲食店経営管理システム」が、復活!!  
外食IT投資の本質を追究した「食材ロスの機械的追放」「自動発注システム」  
「食」の情報システムに革命をもたらした「飲食店経営管理システム」が、復活!!  
for windows版 クラウド対応版

★「自動発注システム」は、特許を取得しております。

店舗作業の大幅な軽減と、内部統制、会社収益の向上が実現します。

全国統々と導入・稼働開始中  
その導入効果に驚愕の声!

外食チェーン向け統合業務管理システム **シェアNo.1**

「飲食店経営管理システム」が最も推奨し実現する、高度な自動発注機能

「飲食店経営管理システム」はPOS系付マルチベンダーシステムです。  
現在お使いのPOSシステムAFCP通信機能があれば、どのメーカー機種との連携も可能です。

**自動発注セミナー全国開催中** 6月5日(水) 6月6日(木) 大阪 6月5日(水) 6月8日(日) 広島

Produced by **Alpha Food System Co., Ltd.** <http://www.afs.co.jp/>

TEL: 0930-263351 FAX: 0930-39-6448  
TEL: 0930-263350 FAX: 0930-36-2020  
TEL: 0930-413322 FAX: 0930-413321

「自動発注システム」の啓蒙活動および稼働事例も多数出てきており、今年1月18日付け日本経済新聞紙面に、外食チェーン大手2社が、今年中に食材の「自動発注」を稼働させるといった記事が掲載され、一気に需要が爆発



「自動発注システム」の特許取得企業として、以前にも増して、問い合わせ・見込み客商談が増加

中堅規模以上の商談が増え、商談・導入調査期間が長くなっていることに加え、中堅以下(20店舗程度)の商談も急増  
当社のみの増員ではとても追いつかない状況が発生



業務改革及び導入要員の育成、底上げが、業界全体で急務であると考え、当社としても計画を超える、大幅な採用増をすると共に  
2018年4月4日に、一般社団法人「外食産業自動発注業務改革機構」を設立  
業務改革要員育成に注力。



NEWS RELEASE  
JASDAQ  
平成30年4月4日

株式会社アルファフードシステム (本社: 山形県小国町小国、代表取締役社長: 野村謙司) は、外食産業で導入が進んでいる自動発注システム、外食産業向けに開発されている食材管理システムの導入を促進するため、当社が取得している「自動発注システム」の特許取得企業である株式会社外食産業自動発注業務改革機構(以下「機構」)を設立し、外食産業向けに食材の自動発注を推進することを目的として、4月4日に、一般社団法人「外食産業自動発注業務改革機構」を設立いたします。

1. 機構の目的  
当社は、「食文化の発展に貢献する」という企業理念のもと、企業業務効率化として、飲食業界に特化した業務管理システム「AFS」を開発・提供し、特に飲食業界の経営上重要な食材のロス削減を推進する中心としたサービスを提供しております。その一方で、2017年1月に設立した「飲食店経営管理システム」の導入を促進するため、外食産業向けに食材管理システムの導入を推進する中心として設立いたしました。

2. 機構の目的  
当社は、「食文化の発展に貢献する」という企業理念のもと、企業業務効率化として、飲食業界に特化した業務管理システム「AFS」を開発・提供し、特に飲食業界の経営上重要な食材のロス削減を推進する中心としたサービスを提供しております。その一方で、2017年1月に設立した「飲食店経営管理システム」の導入を促進するため、外食産業向けに食材管理システムの導入を推進する中心として設立いたしました。

3. 外食産業自動発注業務改革機構の設立  
当社は、外食産業の経営効率化と人不足に対応するため、2018年4月4日、自動発注システムを再リリースし、その際2017年1月に、自動発注システムとして、国内での初めての特許取得を達成したことにより、飲食業界においての特許取得の重要性がますます高まると認識しております。今年中に自動発注システムを導入する企業が増えることを目指し、今年1月に、外食産業自動発注業務改革機構(以下「機構」)を設立いたしました。今年中に自動発注システムを導入する企業が増えることを目指し、今年1月に、外食産業自動発注業務改革機構(以下「機構」)を設立いたしました。

◆前々期からの積極的な「自動発注システム」啓蒙活動で、「飲食店経営管理システム®」の販売が増加◆  
 中堅以上の外食チェーンから、中堅以下のチェーンへ波及し、立ち上げ期間も短いことから、  
 当社としても中堅以下のチェーンへ受注をシフト

「自動発注システム」受注先の導入するPOSシステムは、競合他社のものが多く、昨年後半より、当社受注前に、（競合POS  
 会社が）軽減税率対策補助金（最大1000万円）登録事業者との共同提案で、商談が足踏みすることが多くなった。

「飲食店経営管理システム®」「自動発注システム」は、高機能(軽減税率に関係のない、在庫管理、原価管理、栄養計算があると  
 補助率が大きく下がってしまうこと)がネックとなっていたが、上記の商談状況などから急遽、今年1月から機能を絞り込んだ  
 「飲食店経営管理システム®」パッケージシリーズを開発し、登録申請を行った。  
 申請許可の結果が分かるまでの間(1月-4月末)、「飲食店経営管理システム®」の販売を控えていたため、約1億円程度の売上減  
 収要因となった。

無事補助金対象に

PRESS RELEASE

**JASDAQ**  
平成30年5月21日

各位

会社名 株式会社アルファクス・フード・システム  
 代表者名 代表取締役社長 田村 隆盛  
 (コード番号:3814 東証 JASDAQ)  
 電話番号 0836-39-5151  
 U R L <http://www.afs.co.jp/>

**「飲食店経営管理システム(R)」シリーズが軽減税率対策補助金対象製品に登録されました**

当社の主力商品である飲食業界向けパッケージソフト「飲食店経営管理システム(R)」シリーズが、軽減税率  
 対策補助金対象製品に登録されましたのでお知らせいたします。  
 このことにより、お客様が軽減税率制度対応にかかった費用について、補助金を受けることができます。  
 当補助金は消費税軽減税率制度（複数税率）への対応が必要となる中小企業・小規模事業者等の方が、複  
 数税率対応レジの導入や、受発注システムの改修などを行うにあたって、その経費の一部を補助する制度です。  
 当社のPOSシステム製品についてはすでに、補助金の対象となっておりますが、それに加え、主力の「飲  
 食店経営管理システム(R)」シリーズ全製品が対象となりました。

当社の軽減税率対策補助金対象製品・サービスは次の通りです。

1. 「飲食店経営管理システム(R)」標準システム
2. 「飲食店経営管理システム(R)」売場支援システム（弁当業・ホテル業向け）
3. 「飲食店経営管理システム(R)」給食事業（献立作成）支援システム
4. 「飲食店経営管理システム(R)」回転寿司支援システム
5. 「飲食店経営管理システム(R)」売場支援システム（C K・物流センター仕様版）
6. 「飲食店経営管理システム(R)」飲食店専用 EDI 受発注システム

以上 軽減税率対策補助金B 2型の対象パッケージ6種類となります。

■ご参考  
 補助割合 補助対象経費の2/3（上限10百万円）または1/3（上限5百万円）  
 注意 補助金の採用には審査があり、補助対象になる支出にも範囲が設定されています。  
 詳しくは、軽減税率対策補助金のホームページをご確認ください。

■軽減税率対策補助金事務局ホームページ  
[http://www.kzt-ho.jo.jp/search/product\\_no/b/2/](http://www.kzt-ho.jo.jp/search/product_no/b/2/)

■この件に関するお問い合わせは  
 株式会社アルファクス・フード・システム  
 マーケティング営業戦略部 TEL: 0836-39-5151

## ◆外食産業 人手不足対策の、製品／サービスに集中◆ 2017年12月8日に、自動金銭機器大手のグローリー株式会社と業務提携 「セルフレジ」の共同開発(当社はソフトウェアを担当)を発表

平成 29年 12月 8日

各位

会社名 株式会社アルファクス・フード・システム  
 代表者名 代表取締役社長 田村 隆盛  
 (コード番号:3814 東証 JASDAQ)  
 問い合わせ先 執行役員管理部長 菊本 健司  
 電話番号 0836-39-5151  
 U R L <http://www.afs.co.jp/>

**グローリー株式会社との業務提携に関するお知らせ**

当社は、平成 29年 12月 8日開催の取締役会において、金融機関向け通貨処理機のトップ企業であるグローリー株式会社(本社:兵庫県姫路市 代表取締役社長 尾上広和 以下「グローリー社」という)との間で、飲食店向けセルフレジの共同開発において、業務提携を行うこと(以下「本提携」という)を決議し、本日付でグローリー社との間で合意に達しましたのでお知らせいたします。

記

1. 本提携の理由

当社は、「食文化の発展に情報システムで貢献する」ことを事業ポリシーとして、外食業界に特化した基幹業務システムのASPによる提供から、あらゆる業態に対応できるパッケージ型の総合基幹業務システムである「飲食店経営管理システム(R)」の販売、飲食店店舗にて利用するPC-POSシステム、オーダーエントリーシステム(当社製品名:オーダーショット)の自社企画のシステム機器の開発・販売及び周辺サービスの提供までをワンストップで行っております。

一方、グローリー社は金融機関向け、通貨処理機シェアのトップ企業として、流通業界向けにおいても、自動的機械を含め多様なシステム機器を提供しております。

現在、飲食業界の人手不足が深刻化する中、普及が進んでおります「セルフ会計 POS システム(以下「セルフレジ」)」は、近年ハードウェア面、ソフトウェア面においてそれぞれの専門性が問われており、普及の障害となっております。特にソフト面においては、インバウンド需要に対応するための中国系主要決済システムすべてに対応することが重要となっております。

当社は、すでに3つの決済システムを集約して行う決済モジュールを「α-PAY (アルファペイ)」として自社外食業界向けPOSシステムに標準搭載しており、金銭システム機器でトップシェアのグローリー社と、飲食店向けに、専門性の高い「セルフレジ」を共同開発することで、外食業界における人手不足の緩和、お客様の利便性向上で、セルフレジ導入の拡大を見込んでおり、効率的な営業協力と、相互の企業価値向上を図るものであります。また、以前より業務提携しておりますLINE Pay株式会社とのLINE Pay決済における相乗効果も見込めるものと考えております。

2. 本提携の内容

- ・外食業界における「セルフレジ」の共同開発及び、多店舗店舗拡大のための営業協力

当社がASPによる基幹業務サービスを提供している店舗数はおよそ7,000店舗、「飲食店経営管理システム(R)」の累計販売店舗数は、18,000店舗となっております。

外食業界の人手不足が深刻化している中、国内においては現金決済、中国系観光客は2020年の東京五輪に

平成 30年 3月 14日

各位

会社名 株式会社アルファクス・フード・システム  
 代表者名 代表取締役社長 田村 隆盛  
 (コード番号:3814 東証 JASDAQ)  
 電話番号 0836-39-5151  
 U R L <http://www.afs.co.jp/>

**超コンパクトセルフレジ精算機「セルフショット」を圧倒的な低価格で4月より発売開始**

株式会社アルファクス・フード・システム(本社:山口県山陽小野田市、代表取締役社長 田村隆盛)は、飲食店に来店されたお客様自身が会計する、超コンパクトセルフレジ精算機「セルフショット」を圧倒的な低価格で4月上旬から販売を開始いたします。

**1. 当社紹介**

当社は、「食文化の発展に情報システムで貢献する」業務システムのASP&クラウド型による提供から、刻々人手不足のなか、当社の特許取得技術で実現可能対応できるパッケージ型の総合基幹業務システム「飲で利用するPOSシステム、オーダーエントリーシステム・システム機器の開発・販売及び周辺サービス

**2. 飲食業界におけるセルフレジの現状**

飲食業界の人手不足は深刻の度合いを深める一方でサービス・厨房スタッフを何とか確保できても、金銭問題となっております。近年、人手不足と金銭管理解フレジ精算機を投入しておりますが、広く普及させて

- ・価格が高い
- ・躯体が大きく、現在の会計機器スペースに入らない
- ・金銭管理の操作が複雑で、結局最終精算時には、

当社では、このような問題を解決するため、金銭システムに業務提携し、セルフ精算機を共同開発すると共に、格を実現することを前提に、セルフレジ精算機接続のPOSレジ及び会計ソフトウェアを開発して参りました。

**3. 超コンパクトセルフレジ精算機「セルフショット」の特長**

**省スペース**

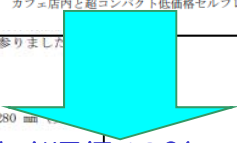
POSレジシステムを超コンパクト化し、金銭機器部分と合わせても(W)275×(D)573×(H)280mm(突起部を除く)と、業界最小を実現しました。

**カンタン金銭管理操作**

つり銭機の取引内容・動作状況などは、履歴参照機能でいつでも確認機内在高の再計数・確定作業を、精算機が自動で行い現金の確認やまた、多彩なログ記録によりつり銭の投入や払い出し等の金銭管理をいど金銭を数える必要がありません。



外食産業全体で需要増



当社51% 光通信49%の合弁会社



株式会社 AFSマーケティングをはじめ、

既存の代理店ルートは6月より販売を準備中

外食産業の深刻な人手不足と、当社の稼働成功事例／1月の日本経済新聞掲載効果で、「自動発注」需要が爆発

## 「自動発注」は、宅配市場の再来

### 「自動発注」近々の市場拡大規模



1956年はゼロ

現在宅配便は、年間36億個

36億個 × 平均1000円 = 3.6兆円

ヤマト + 佐川 + 日本郵政3社で

市場規模 約3兆円



2016年度外食市場規模 24兆円  
外食全体店舗数(法人)は60万店

現在ほぼゼロの「自動発注システム」の

近々新規市場規模は  
国内のみでも

2,160億円  
(月額1万~4万円試算)

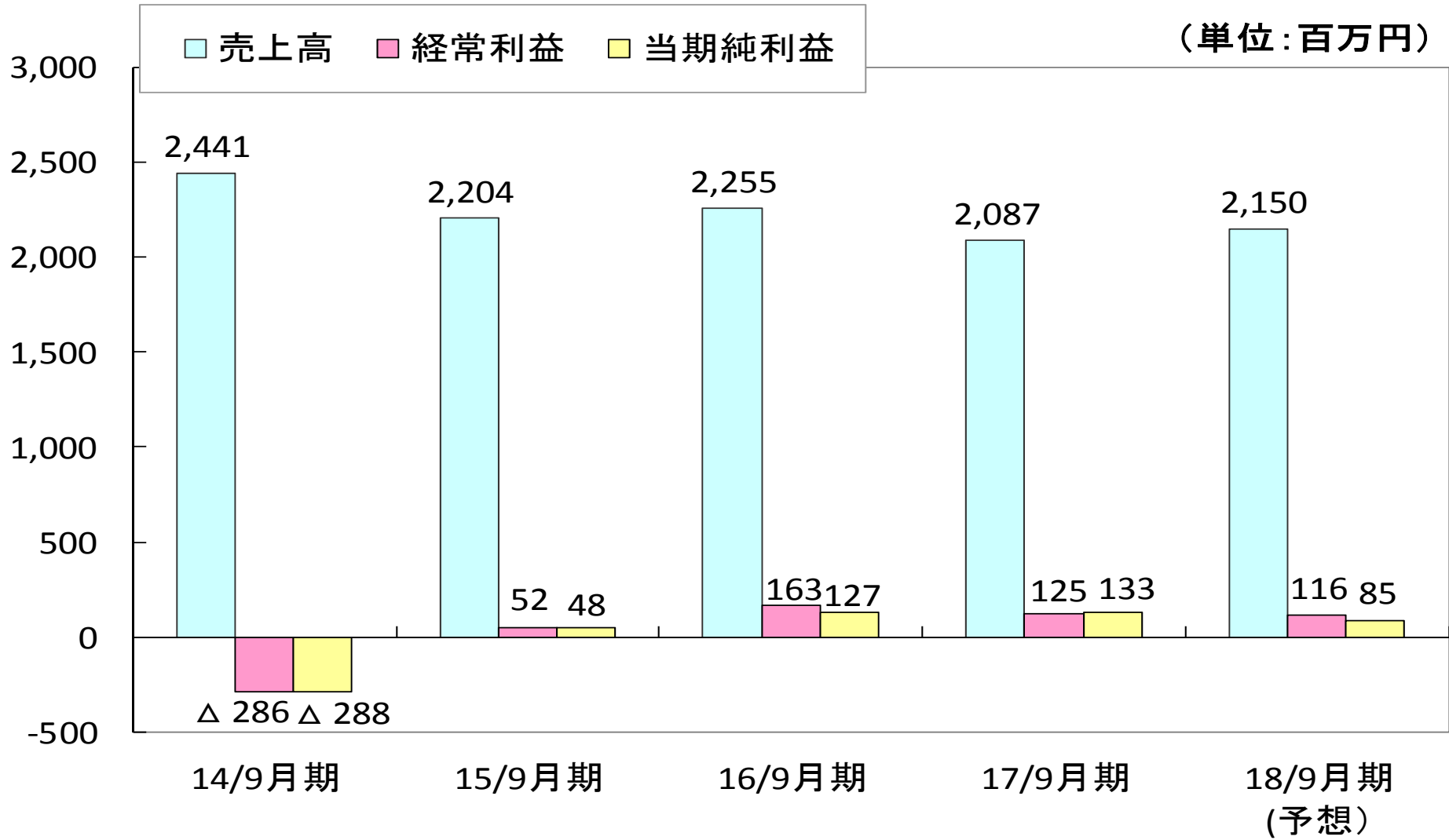
当社だけの市場規模にあらず

一般社団法人  
外食産業自動発注業務改革機構設立  
(需要拡大を後押し)

今後さらに、「自動発注システム」受注に集中

ALPHAX FOOD SYSTEM

■ 上期の挽回より人材育成を優先し、来期以降の近年最高益更新を狙う



- ◆経費の効率的配分を継続、大型展示会出展/販促費への費用配分、自動発注指導要員育成費を採用と共に拡大
- ◆自社システム機器と、高粗利「**飲食店経営管理システム®**」のバランス販売で、全体として高収益体質に  
(単位：百万円)

	18/9期 (予想)			17/9期		コメント
		構成比	対前年同期 増減率		構成比	
売上高	2,150	—	+3.0%	2,087	—	売上高よりも、粗利とのバランス販売に集中
売上原価	1,255	58.4%	△5.7%	1,331	63.8%	周辺機器販売の構成比低下により、原価低減
売上総利益	895	41.6%	+18.5%	755	36.2%	
販管費	755	35.1%	+21.9%	619	29.7%	
人件費	450	20.9%	+18.7%	379	18.2%	積極的な採用と育成、労働環境の整備など
その他	305	14.2%	+27.0%	240	11.5%	経費の効率配分で、必要販促費を増額
営業利益	140	6.5%	+2.8%	136	6.5%	「 <b>飲食店経営管理システム®</b> 」販売開始で収益改善
営業外収益	5	0.2%	△45.5%	9	0.4%	
営業外費用	29	1.3%	+43.6%	20	1.0%	
経常利益	116	5.4%	△7.3%	125	6.0%	
社員数	115名		+6.5%	108名		

① 外食人手不足対策製品「自動発注システム」「セルフレジ」販売に集中

外食産業の人手不足に対応できる、製品・サービスに営業資源を集中

② 新データセンターの本格稼働 日本一災害時に強いセンターへ

国内初の規模で「BELS」五つ星認定を取得

新基準のISO27001取得、更新で更なる安心／安全をウリに受注拡大

③ 新データセンター完成に伴い、外食向け多決済サービスを本格化

前期末総会にて、定款変更

各社 Payをはじめ、今後のインバウンド増に向けた多決済サービスを随時追加

④ 国内初のオフグリッドデータセンター技術を、店舗サービスに活用

新データセンターのオフグリッド技術を活かし、エネルギー削減サービスを模索

⑤ ソフト／サービスの海外展開を模索し、サービスの選定に着手

次の成長、海外進出を目指し「**飲食店経営管理システム®**」の多言語化に着手

■外食ウルトラ統合サービス「FOOD GENESIS | S」は  
店舗システム機器/基幹業務システム/WEB集客支援サービスを1社で手掛ける、AFSならではの業界初の周辺統一元管理サービス

●「飲食店経営管理システム®」の提供と融合で、“食”企業のすべての業種/業態に対応できるようになった●

## ■店舗

チェーン各店で情報共有

予約顧客情報 Handy shot は、1台8役の超切れ端末



ハンディへの表示が可能

利用実績管理

「LINE Pay」など多決済を随時追加  
入金・決済・ポイント処理・顧客購買情報交換



顧客検索も可能 (カード不携帯/VIP顧客への対応)

### 宅配伝票支援システム

- 予約注文受付 (CTI対応)
- 調理指示書
- 配送処理
- 顧客情報管理 (履歴)
- 実績集計
- DM抽出・発行
- 売掛管理
- 日別/席別予約一覧
- 予約台帳管理
- 顧客情報検索
- 利用実績/履歴表示
- テイクアウト予約管理
- デリバリー予約管理

多機能 \*FGNカード (\*FoodGenesisNetwork)

会員識別+ポイント+プリペイド・ギフト

お客様

■本部

会員登録・予約  
外食チェーン様 ホームページ

全DBをグループ・チェーン全部門で情報共有



世界初!  
フロアレイアウトを見ながら  
リアルタイムに座席指定の予約が可能  
リアルタイムに座席指定の予約可能なグルメ予約サイト

「FOOD GENESIS」外食ウルトラ統合DB  
外食チェーン向け情報システムの完成基盤

- 本部系基幹業務システム
- POS購買 & 顧客DB
  - 通販購買 & 顧客DB
  - 在庫ロス分析
  - 自動発注
  - 売上多面分析
  - 勤怠シフト管理
  - 売上分析
  - 顧客情報登録・取込
  - 各種実績管理
  - RFM分析
  - デシル分析
  - CPM分析
  - 在庫ロス分析
  - 自動発注
  - 勤怠シフト管理
  - 売上多面分析
  - 顧客情報登録・取込
  - 各種実績管理
  - RFM分析
  - デシル分析
  - CPM分析

顧客  
商圈抽出  
DB

Map商圈分析支援システム

商圈分析  
販促などの効果測定

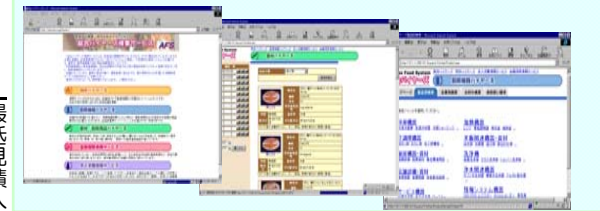
## ■テイクアウト・宅配・通販

おうちで楽しむプロの味、  
**e-foodオーダー**  
すべてがひとつに。デリバリー・テイクアウト・Web予約サイト  
(管理機能付き)

①ネット販売 ②一般通信販売 ③各種CTI機能

多機能カードでお買い物  
(ポイント/ギフト/プリペイドカード)  
※標準対応

## ■共同購買・マーケットプレイス連携



## ■CK・物流/仕入ネットワーク

自動発注データ受入

- 在庫管理 (基準在庫)
- 加工品・リードタイム
- 製造指示・ピッキング表
- 産地情報・アレルギー
- JAN/ITF・電子請求書
- 単価切替管理
- 物流側自動発注

# 下期の営業推進策(継続)

## ◆新規受注獲得の為、積極的な販売推進への予算配分◆

■マーケティング/営業推進本部再編成により広告宣伝の出稿

■「自動発注」セミナーを定期開催!

■“食”の大型展示会に、継続して出展

■2018/5/23付日経MJに全面カラー広告出稿

■今期出展済み■

**28年前、あっという間に業界ベストセラーとなった「飲食店経営管理システム」**が累計発行1000万部突破。日本人の食文化を追求した「食材ロス」の機械的追放「自動発注システム」が、復活!!

「食」の情報システムに革命をもたらした「飲食店経営管理システム」が、復活!!

★「自動発注システム」は、特許を取得しております。

店舗作業の大幅な軽減と、内部統制、会社収益の向上が実現します。

全国誌々と導入・稼働開始中の導入効果に驚愕の声!

**飲食店経営管理システム シェアNo.1**

「飲食店経営管理システム」が最も推奨し実現する、高度な自動発注機能

飲食店経営管理システムはPOS集信マルチベンダーシステムです。現在お使いのPOSシステムにFTP通信機能がなければ、どのメーカー機種との売上集信も可能です。

**自動発注セミナー全国開催中**

6月5日次 東京 6月6日次 大阪  
6月7日次 福岡 6月8日次 広島

Produced by Alphax Food System Co.,Ltd. <http://www.afs.jp/>

TEL: 0120-149104 E-mail: info\_so@afs.jp

■焼肉ビジネスフェア(1月・2月)

**10周年!!** 肉料理を扱う全ての外食店様へ向けた **ミートワードEXPO**

**焼肉ビジネスフェア2018**

YAKINIKU BUSINESS FAIR 2018

■HCJ ホテルレストランショー(2月)

**HCJ2018**

国際ホテルレストランショー  
フード・ケータリングショー  
厨房設備機器展

■ファベックス(4月)

**ファベックス2018**

The World Food And Beverage Great Expo 2018

スマイルケア食 提案ゾーン

**デザート・スイーツ・ベーカリー展**

Dessert Sweets & Bakery Festival 2018

カフェ&ドリンクExpo

■西日本食品産業創造展(5月)

**第28回 西日本食品産業創造展 '18**

PROFESSIONAL FOODSERVICE, INDUSTRY & CREATION

■今期出展予定■

■すしEXPO(8月)

**すしEXPO**

広がる寿司ビジネス/寿司にならないネタはない

2018.8.22(水)▶24(金)

東京ビッグサイト 東5-6ホール

主催 一般社団法人 大日本水産会

■外食ビジネスウィーク(8月)

**外食ビジネスウィーク 2018**

■フードシステムソリューション(9月)

**フードシステムソリューション**

FOOD SYSTEM SOLUTION

◆「飲食店経営管理システム®」と、「FOOD GENESIS」の融合サービスで比類ない専門性を追求◆

新規顧客の拡大

既存顧客囲い込み

## ASP/クラウド型 基幹業務サービス事業

- ①黒子から、積極大手ユーザー告知/協業へ
- ②新データセンター構想告知で積極的受注
- ③ISOの範囲拡大による、高技術をアピール

- ①標準サービスに徹し、粗利率の改善
- ②追加サービスの投入による月額サービス増
- ③他社周辺サービスとの接続による拡大

## 「飲食店経営管理システム®」



## 基幹業務パッケージシステム販売事業

- ①あらゆる業種の“食”企業へのアプローチ
- ②全国セミナー開催/大型展示会販売を開始
- ③高粗利の為、全国代理店網の高速協業化
- ④マルチベンダーPOS集信化で、共創未来
- ⑤食専門コンサルタントへのアゲミック価格で販売促進

- ①過去1500社18000店舗へのアプローチ
- ②現使用中の100社1000店舗への入替推進
- ③ASPサービス顧客への追加アプローチ
- ④オプションシステムのための追加アプローチ
- ⑤ASP型サービスとの融合サービス推進

## システム機器事業&周辺機器サービス事業

- ① **FOOD&6000** の市場投入で受注拡大
- ② セルフレジ「**セルフレジ**」の市場投入

- ① **FOOD&6000** の入替促進
- ② セルフレジ「**セルフレジ**」提案

◆ASPサービス事業・基幹パッケージ事業・店舗システム機器事業双方向からアプローチ◆

■外食ウルトラ統合サービス「FOOD GENESIS」機能を完全補完■



## ◆ 外食業界上位300社から、成長前の小規模店多業種もターゲットへ ◆

「飲食店経営管理システム®」は、マルチベンダーパッケージ 従来の競合会社へも卸販売し、「共創未来」関係に

◀... 本部側基幹業務システム (ソフト) ...      ... 店舗側システム機器 (POS/OES) ... ▶

